

港北区の「活動」をつなぐ情報誌

# 楽らく遊ゆう学がく

第302号

2022(令和4)年12月  
隔月発行

【編集・発行】港北区区民活動支援センター

## 特集

伝統を地域の子どもたちに継承し続けていく  
「注連引き百万遍保存会」



(注連引き百万遍保存会の皆さま)

- しめひ ひゃくまんべん
- P.2 特集 「注連引き百万遍保存会」
  - P.3 「わがまち港北」スポット 篠原地域ケアプラザ
  - P.4 連載「シリーズ わがまち港北」第233回 林 宏美 著
  - P.5 遊学スポット (港北区内・周辺のイベント情報)  
『港北区グループ・団体ガイド』登録の会員募集
  - P.6 区民活動支援センターからのお知らせ

新羽周辺の地域では、江戸時代中期から、わら蛇を作って、100万遍念仏を唱え、村境の柵(ひいらぎ)の木に巻きつけておくと、疫病から村人を守るといわれてきました。この「注連引き百万遍」(しめひきひやくまんべん)という伝統行事は、横浜市指定無形民俗文化財にも指定され、保存会によって継承されています。

今回は、この伝統行事を地域の子どもたちに伝え続けている「注連引き百万遍保存会」の活動をご紹介します。

## 「わら蛇」を通して地域の子どもたちの健康と安全を見守る活動

### 注連引き百万遍保存会の活動

25年ほど前、戦時中に中断していた「わら蛇」作りを新羽地区にある中之久保(なかのくぼ)町内会で再興しようとしたが、わらなどの材料が入手困難だったことから、新羽地区全体に地域を拡げ、新羽町連合町内会として「注連引き百万遍保存会」を立ち上げ、伝統行事を引き継ぐことになりました。毎年秋になると4匹の大蛇を作り、新羽小学校3年生児童に「わら蛇」の作り方を伝えています。4匹の大蛇は、杉山神社・新羽小学校・新羽中学校・新田小学校の校門付近に飾られ、子どもたちの登下校の安全や、折からの新型コロナウイルス退散の願いに寄り添い続けています。



西方寺での大蛇作り



保存会の方々

### 注連引き百万遍の由来

浅間山の大噴火により疫病が流行り、多くの子どもたちが犠牲になりました。困り果てていた村人は、わらで編んだ3匹の大蛇を村境の「ヒイラギの大木」に巻き付け、「ここで病を食べ尽してください。」と、祈りを込めたお神酒をかけて祈願しました。すると、その年には疫病がなくなりました。村人は、「わら大蛇のおかげだ。」と、心から感謝し、それから毎年、わら大蛇を作るようになったと伝えられています。



新羽小学校校門の大蛇



今年の大蛇

### わら蛇の材料について

わらは、通常の米のわらよりも、長くて良質な、モチ米のわらを使用するそうです。「このわら蛇を作るために、モチ米も作っているんですよ。」と教えてくれました。

わら蛇の背中には御幣(ごへい)をいただき、カチの木で作った「突き出た目玉」と、ベンガラ(注1)で紅く塗った舌を麻糸で結びます。最近ではベンガラの代わりにカラスプレーやペンキ、油性マーカーなど使っているそうです。

注1) 土中の鉄が酸化した酸化第二鉄を主成分とする染料

### 子どもたちの体験学習が次世代に引き継がれていく

コロナ禍で中止になっていた「わら蛇」作りが3年ぶりに再開され、新羽小学校3年生65名が、保存会や保護者から「わら蛇」作りを学びました。保存会の方が「上に2本、隣の2本を下に。」と声をかけながら、下あごと頭を編んでいく児童の手先を見守ります。わら蛇が完成すると、子どもたちは、達成感に包まれ、友達と一緒にわら蛇を持って遊ぶ姿は笑顔があふれていました。最後に校長先生から「みんなが健康で、すくすくと育っていくように、と受け継がれてきた伝統行事です。自分が育った地域で学んだことは一生の宝物です。世界で一つしかない宝物です。みんなも大事な思い出として、次の人に伝えてあげてください。」とのお話がありました。

かつて疫病で苦しんだ村人から始まった伝承行事は「わら蛇」作りを通して、地域の方々子どもたちをつなぎ「注連引き百万遍保存会」によって、これからも次世代の子どもたちに継承されていきます。

紙芝居にも  
なっています!

港北昔ばなし  
大蛇とはやりやまい  
吉野 久枝 作



◀ 紙芝居は動画でもご覧いただけます  
映像提供: 港北ふるさとテレビ局/映像ライブラリ

篠原地区は港北区の南部に位置し、菊名・富士塚・篠原町の一部と、篠原西町・仲手原・篠原台町・篠原東の町々から成っています。地域での子育て支援や高齢化対応などへの取組も早く、福祉活動も盛んです。子育てサロン「らっこ」、子育て支援事業「しのはランド」や、高齢者サロン「しのはら人生一服亭」、障害者自立支援活動「コーヒーフレンドしのはら」、障害児放課後余暇支援活動「とも・とも篠原」等、地域ケアプラザで長きにわたりずっと続いているボランティア活動は、地域の皆さんの馴染みとなっています。

マスコットキャラクター  
キクちゃん



篠原地域ケアプラザ 外観  
(篠原地区センターと合築)

住 所:横浜市港北区篠原東2-15-27  
電 話:045-423-1230(代表) FAX:045-423-1270  
開館時間:月曜日～土曜日 9時～18時  
日曜日・祝日 9時～17時  
※貸館予約のない夜間は閉館の場合があります。  
休 館 日:第3月曜日(祝祭日の場合は翌日)、年末年始  
交 通:東急東横線「妙蓮寺駅」下車 徒歩10分  
市営地下鉄「岸根公園駅」下車 徒歩15分  
市営バス「坂下」バス停下車 徒歩3分

※貸館の利用、また開館時間等については、施設にお問合せください。

公式ホームページはこちら

<https://www.yokohamashakyo.jp/shinohara/>



## ケアプラザ協力医による健康相談会・健康づくり講演会

日々の暮らしの中で感じる健康への気かりなどを、ケアプラザでお医者さんに、無料で個別に相談できます。気さくなお人柄の協力医・片山先生(医療法人社団ゆうあい会ゆうあいクリニック理事長)曰く「診察室ではないからこそ、生活全般の話もざっばらんに聞いて、ニーズを掴んでいます」とのことです。また、「協力医による健康づくり講演会」の開催もあります。相談会や講演会がケアプラザに足を運ぶきっかけとなり、地域包括支援センターの相談にもつながりやすくなっています。

健康相談をご希望の方は、事前に上記までお申し込みください。



健康相談会の様子

次回は1月17日(火)、2月21日(火)の午後2時から3時まで(お一人15分目安)

## ケアプラザ共催 SOW保護者の集い

SOWは、学校に行きづらい子とその親のための活動をしている当事者団体です。不登校や学校に行きづらい小中学生とその親を対象に、毎週火曜日に、COCOLしのはらで居場所を開催しています。また保護者向けに毎月第1日曜日、地域ケアプラザの多目的ホールにて「保護者の集い」を開催しています。「不登校を経験した青年から話を聞こう」「先輩ママから話を聞こう」等、毎回テーマを決めているのが特徴です。日頃の悩みや工夫を共有して、明日からまた頑張ろうと思える場です。該当する保護者であれば、どなたでも参加できます。(1月はお休み)



保護者の集いの様子

お問い合わせは上記へお願いします。



「地域ケアプラザ」は、誰もが安心して住み慣れた地域でいきいきと暮らすことができるよう、様々な形でお手伝いする福祉・保健活動の地域拠点です。



## わがまち港北、今日この頃、そしてこれから

シリーズ「わがまち港北」は、この度4年8ヵ月ぶりに連載を再開することになりました！再開と言っても、前回から長い年月が経ちましたので、お久しぶりの方も初めましての方もいらっしゃるでしょう。初めてご覧の方へ簡単に説明しますと、この連載は、港北区域の歴史や文化、その時々のお話をわかりやすく紹介することを目的とした読み物です。

さて、再開後初の原稿、何をテーマにしようか悩みましたが、平成30年(2018年)4月以来の原稿ですので、まずはこの間の港北区の出来事を少し振り返ってみましょう。

平成31年(2019年)、港北区は区制80周年を迎え、さまざまな記念イベントが行われました。11月に記念植樹として大倉山公園に植えられたハナミズキは、年ごとに大きくなって春には白い花を咲かせています。

昭和14年(1939年)に誕生した港北区は当初、現在の緑・都筑・青葉に保土ヶ谷区の一部(上菅田町・新井町)までを含む広大な区域でしたが、昭和44年(1969年)と平成6年(1994年)の二度の行政区域再編成を経て、現区域となりました。令和4年11月現在の人口は市内18区最多の36万2,387人！横浜市の総人口が約377万人ですので、一区ではほぼ10分の1を占めている計算ですが、人口増加はまだ続く見込みです。三度目の区域再編が行われる日もいつか来るのでしょうか。

11月には、日産スタジアムでラグビーW杯の決勝戦が行われました。筆者は現地観戦こそ出来ませんでしたが、決勝当日、新横浜駅に集まった世界中のラグビーファンの熱気を感じられたのは貴重な体験でした。

令和2年(2020年)、世界を一変させたのが新型コロナウイルスです。目に見えないウイルスとの先の見えない戦いは未だ続いています。この年の明るい話題の1つが横浜市立箕輪小学校の開校です。箕輪小学校は平成27年(2015年)11月、旧アピタ日吉店や野村総合研究所などの跡地再開発による大規模マンション建設で、日吉台小学校の児童数急増が見込まれることから、仮称「日吉台小学校第二方面校」として設置構想が発表されました。平成29年(2017年)3月、校名が「箕輪小学校」に決定し、令和2年4月に区内26番目の小学校、横浜市では令和初の新設校として開校しました。

令和3年(2021年)には、コロナ禍で1年延期となった東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会が開催され、日産スタジアムは男・女サッカー競技の決勝会場となりました。これによって日産スタジアムは、サッカーW杯・ラグビーW杯・オリンピックの3つの世界的スポーツ大会で決勝戦が行われた世界唯一のスタジアムとなりました。また、区内では日吉の慶應義塾大学がイギリス、仲手原の武相中学・高等学校がボツワナ共和国とチュニジア共和国の代表チームに練習施設を提供しました。

この年の3月には、宮内新横浜線の新吉田高田地区が全線開通し、区最北部の高田から南の新横浜までが1本の道路でつながりました。11月には横浜市による小机城の試掘調査が行われ、小机城の歴史や縄張りの解明に大きな一歩が刻まれたことも記しておきます。

令和4年(2022年)、1月には日吉図書取次所、愛称「日吉の本だな」がオープンしました。図書取次所は、インターネットで予約した横浜市立図書館の本の受取や返却ができる施設です。慶應義塾大学日吉キャンパス内の地域連携施設「協生館」内にあり、展示・企画スペースを備えているのが他の取次所にはない特色です。港北図書館は区南部にあり、最寄りの菊名駅から少し離れています。図書取次所が区北部の日吉駅近くに開設されたことで、図書館サービスをより多くの方が利用しやすくなりました。

他にも、ここに書ききれない様々な出来事がありました。いずれ別の機会にご紹介しましょう。来年令和5年(2023年)は、いよいよ相鉄・東急新横浜線が開業します！歴史を見ても、横浜線、東急東横線、東海道新幹線、横浜市営地下鉄と新たな鉄道網は地域を大きく変えてきました。新駅が設置される綱島は再開発が進んでおり、再来年3月には地域の文化を担う港北区民文化センター、愛称「ミズキーホール」の開館が予定されています。港北区はこれからどう変わっていくのか、期待は膨らみます。

地域の歴史や文化はそこにしかない魅力であり宝です。地域を知ると地域が好きになり、毎日は一層楽しくなるはずです。この連載を通して、港北区の魅力をたくさん伝えていきたいと思います。

記: 林 宏美(公益財団法人大倉精神文化研究所図書館運営部長 兼 研究員)

## 遊学スポット(港北区内・周辺のイベント情報)

ここに掲載されている内容は、2022(令和4)年10月28日現在の情報です。詳細は、問合せ先にご確認ください。

### 大倉山ジョイフルコンサート「黒川 侑 ヴァイオリン/サイタル」

日時: 2023(令和5)年1月15日(日) 14:00開演(受付開始13:30)  
会場: 港北公会堂  
料金: 大人・高校生 2,000円 中学生以下 1,000円(全席自由)  
未就学児入場不可 予約専用電話: 080-8424-5108  
問合せ: HP <https://www.ohkurayama-joycon.com>

### 港北図書館友の会「読書サロン」

1月のテーマ「古代史と文学」 ※12月のサロンはお休み  
日時: 1月22日(日) 13:30~16:30  
参加費: 無料  
会場: 港北図書館2階会議室 当日直接会場へ  
問合せ: 事務局 TEL 423-2223(八木クリニック内)



### 港北童謡の会

生の音楽にふれ、一緒に心和むひとときを過ごしませんか？

① 12月20日(火) 青山恵子先生

② 2023(令和5)年1月11日(水)

ニューイヤーコンサート 三縄みどり先生

時間: 各回14:00~16:00

会場: 港北公会堂

参加費: 900円/回 事前申込不要 当日直接会場へ

問合せ: はかりや TEL 070-5556-1491

山本 TEL 090-6924-4650/ 竹内 TEL 090-6521-5879



### 神奈川区いまむかしガイドの会「神奈川歴史散歩」

日時: 12月17日(土) 中原街道(約5.5キロ) 市営地下鉄仲町台駅集合 集合 8:30~9:00 解散12:00~12:30  
定員: 約100名(応募者多数の場合は抽選)  
参加費: 500円(保険料含) 申込: HPの応募フォームまたは往復はがきに 開催日・コース名・〒住所・氏名・電話番号・参加者全員の氏名を記入の上、〒221-0802 神奈川区六角橋1-10-11 すぺーすろっかつ内「NPO法人 神奈川区いまむかしガイドの会」 締切日: 開催日の15日前必着  
問合せ: 長谷川 TEL 090-8817-0001

## 『港北区グループ・団体ガイド』登録の会員募集

### アトリエKギターサークル

昔、ギターを少し弾いた経験のある方、少し余裕が出来て又ギターを弾いてみたい方、一緒にギター音楽の魅力を味わってみませんか?クラシック、ポピュラー、ラテン、タンゴ、フラメンコ、日本の曲などジャンルを問わずギターを楽しんでみませんか?

日時: 毎週日曜日(5週目は休み) 18:00~20:45

会場: 大綱中コミュニティハウス 研修室

参加費: 300円/回(大倉山記念館サークル会員は無料)

問合せ: 木南(きなみ) TEL 080-5057-5474

### 畑っこ・新羽の会(野外活動)

年間で10種前後の野菜を共同で育成します。野菜の育成方法を指導しますので、お気軽に参加ください。参加条件は、年間に10回程度の共同作業に参加できること、自主作業を年間30日程度できること、PCまたはスマホでメール送受信ができること及び、WEBでの登録操作ができること。

会場: 新羽町150坪の畑(集合は、大竹会館または畑)

対象: 港北区内在住の家族 年会費: 9,000円/家族

申込・問合せ: hatakekko-entry@googlegroups.com

がくせいりゅうにほんごんいん

### 岳精流日本吟院(詩吟)

詩吟を吟じてみませんか?詩吟をすると心身ともに若返る!仲間が増える!ストレス解消!になりますのでどうぞお気軽に。

日時: 毎週金曜 15:00~17:00(第5金曜を除く)

無料講習を12月9日・16日・23日に行います。

会場: 新田地区センター3階

問合せ: 階伝師範 武 龍臣 TEL 090-3819-4418

### 薬膳健康づくり研究会

「一食一食を大切に考え、食事を通して病気を予防し健康で楽しく健やかに生きる(未病先防)」を目的に活動しています。薬膳に興味のある方大歓迎です。

HP: <http://www.yakuzenkenko.org>

問合せ: 青木 TEL 044-266-8878

野沢 TEL 781-8449



### 第18回 港北美術展 出品作品募集(作品展示 令和5年3月1日~8日)

港北美術展では、絵画・書・写真・工芸・中学生以下の5部門で作品を募集中です。

出品申込締切: 令和5年1月13日(金) 応募資格: 港北区在住・在勤・在学・区内を拠点として活動する個人 参加料: 500円(中学生以下無料) ※1人1作品まで。部門をこえた複数出品はできません。

申込・問合せ: 港北芸術祭実行委員会 TEL 540-2239 メール ko-art@city.yokohama.jp



## 「遊学スポット」掲載希望の方へ 次号は303号(2023年2・3月号)です

次号(303号)の「遊学スポット」ならび「登録グループからの会員募集」掲載依頼の原稿締切は、**12月26日(月)**です。概ね2023(令和5)年2月10日~4月10日迄のイベント情報をお寄せください。詳しくは区民活動支援センターまで!

## 遊学スポット(港北区内・周辺のイベント情報)

ここに掲載されている内容は、2022(令和4)年10月28日現在の情報です。詳細は、問合せ先にご確認ください。

### 横浜古代史料を読む会 講演会

日時:12月24日(土) 14:00~16:00(受付開始13:30~)

演題:「奈良時代の女性天皇」

講師:國學院大學教授 佐藤長門 氏

会場:横浜市歴史博物館 講堂(センター北駅徒歩5分)

定員:160名(応募者多数の場合は抽選)

参加費:500円

申込:往復はがき(一人一通)に

①講演名②〒住所③氏名(ふりがな)④電話番号を明記し  
下記まで郵送してください。

送り先:〒224-0021 横浜市都筑区北山田6-3-6 長田方

横浜古代史料を読む会 事務局

申込締切:12月15日(木)必着

問合せ:区民活動支援センター



## 「遊学スポット」掲載希望の方へ 次号は303号(2023年2・3月号)です

「遊学スポット」ならび「登録グループからの会員募集」掲載依頼の原稿締切は、発行月の前々月20日です。

次号(303号)の締切は12月26日(月)です。概ね2023(令和5)年2月10日~4月10日迄のイベント情報をお寄せください。

詳しくは区民活動支援センターにお問い合わせください。

# 区民活動支援センターからのお知らせ

## 「港北地域学」講座 ～もっと学ぼう！港北区のあれこれ～

自然環境と歴史に育まれた港北区の成り立ち、特性などについて学ぶ「港北地域学」講座。第2回目は日吉、第3回目は綱島について学びます。

講座終了後には、「日吉台地下壕」の見学や港北ボランティアガイドの会によるオプションツアー「新綱島駅周辺から綱島を歩く」も実施予定です。

座学で学んで、町を歩いて、港北区をもっと深掘りしてみませんか。



日吉台地下壕

### 第2回 日吉台地下壕の歴史

日時: 令和5年1月16日(月) 13:00～16:00

※14:30～ 日吉台地下壕に移動、見学

会場: 日吉地区センター別館会議室

講師: 都倉 武之氏(慶應義塾福澤研究センター准教授)

定員: 30名

受講料: 無料

申込: 11月25日(金)～12月20日(火)

協力: 日吉台地下壕保存の会



← 応募フォームはこちらから

### 第3回 子どものころの綱島について語ろう

日時: 令和5年2月6日(月) 13:30～15:30

会場: 綱島地区センター和室

講師: 綱島地区連合自治会 町会長の皆さま

オプションツアー: 新綱島駅周辺から綱島を歩く

日時: 令和5年2月13日(月) 9:30～11:30

定員: 50名 受講料: 無料

申込: 令和5年1月4日(水)～1月25日(水)

協力: 港北ボランティアガイドの会



← 応募フォームはこちらから

## グループ・団体のための「つながるカフェ」

**参加者募集中!**



近藤 博子氏

### 第2回 地域をつなぐ場づくり

日時: 12月19日(月) 14:00～16:00

会場: 港北区役所1・2号会議室

アドバイザー: 近藤 博子氏

(だんだんワンコインこども食堂代表)

参加費: 無料

対象: グループ・団体・サークル・自治会・ボランティア活動をされている方。居場所などに携わる方。地域で活動をしたいと考えている方。

つながれば  
もっと広がる  
交流の輪



応募フォームは  
← はこちらから

## ご意見ご感想をお寄せください

いつも「楽遊学」をご覧いただきありがとうございます。  
内容についてのご意見・ご感想、お気づきの点など、支援センターまでお寄せください。

港北区区民活動支援センター(港北区役所4階48番窓口)

〒222-0032 港北区大豆戸町26-1

TEL&FAX 540-2246

Eメール ko-center@city.yokohama.jp

★開館時間★

月～金曜 8時45分～17時(土・日曜、祝日、年末年始除く)

港北区区民活動支援センター

検索

